

平成 24 年度村民意見交換会の結果概要

第 1 回の村民意見交換会（父島・母島共通）では、まず様々なデータによって遺産登録後の変化を皆さんで情報共有しました。主な項目は次のとおりです。

1. 人口 平成 22 年 4 月 2,486 人、平成 24 年 4 月 2,538 人
平成 18 年以降微増傾向

2. 世界遺産関連事業費

環境省、林野庁、国交省（振興開発事業）、東京都の事業費を資料と比較
振興開発事業以外は増加から横ばい傾向

3. 警察業務取扱の推移

事故は特に増加傾向はないが、遺失届・拾得物（忘れ物・落とし物）は増加。

4. 来島者

観光客（おがさわら丸）

平成 22 年度 13,572 人、平成 23 年度 21,584 人 1.6 倍

61 歳以上の高齢者の伸び率が高い。月別にみると、10 月、11 月、3 月の閑散期に伸びている。

5. 入場数、売上等

海洋センター、ローズ記念館の入館数、バス売上げ、ラム酒売上げ すべて伸びた。

6. 許認可

環境省 自然公園法関係、林野庁 入林許可関係は過去 5 年でばらつきあり。

7. 観光満足度調査

平成 22 年度から平成 23 年度で「再来訪意向」や「総合満足度」など主要項目で低下。今後の受け入れにあたって要注意。

8. 保全対策

(1) ノネコ対策 父島山域のノネコ捕獲頭数減少（生息密度低下）

(2) アカガシラカラスバトの状況

平成 24 年になって目撃情報が増加。人里でも目撃。

(3) ネズミ類への対応

父島、聳島属島の一部で駆除を実施。兄島、弟島では根絶に失敗。

今後、母島属島で実施予定。

(4) 外来植物駆除 各機関が各地で実施

(5) オガサワラオオコウモリ対策 農作物被害対策を実施中。

(6) 外来種普及啓発事業 南島島で実施。

◎当日は、さらに詳細な「基礎資料集」を配布しています。